

上神明 天祖神社社報

第182号 平成24年7月1日



夏越大祓 形代流し 於 白子海岸

社頭所感

天祖神社宮司 斎藤篤信

浦安の舞の真意

浦安の舞とは心の安らぎという意味で、平和を祈る心の舞であり古く日本の国名を浦安の国といったのは風土が美しく平和であったからです。

浦安の舞とは、紀元二千六百年の奉祝式典が行われた昭和十五年十一月十日午前十時に全国の神社で斎行された奉祝祭で御神慮をお慰めすると共に世界平和の祈りを込めて全国で一斉に奉奏されました。当時の宮内省楽部長多 忠朝氏の作曲振付によるものです。

要するに浦安の舞は、平和を祈る心の舞であります。舞う人の心が神と一体となり、見る人に「心の安らぎ」「平和な心」を感じさせなければなりません。誠心誠意、研鑽を重ねて美しい音楽、美しい舞を奉奏し初めて神々と人間の尊さ美しさを謳歌することが出来るのであります。舞の教えには大切にしなければならぬ三つの心があります。「見直しの心、聞き直しの心、やり直しの心」であります。それは素直である事、勇気である事、努力する事であります。そして、今一つもとても大切な事は愛情であります。何ものも包む暖かい心が伴わなければ、より良き実りは望めないであります。

この事が浦安の真の意義であります。

田植祭 厳修す

毎年新春に当り参拝者にさしあげるご神米は、宮司の母の出身地である長野県下伊那郡阿智村で収穫されたものを使用していますが、今年も同様に使用させていただく予定で、去る五月十七日に現地におもむき田植祭を厳修いたして参りました。



吉村家よりご浄財の献納賜る

故 吉村紙業(株)会長 吉村正雄様令夫人
美智子様よりご浄財のご献納いただきました。
誠に感謝に堪えません。

ご浄財は、拝殿前階段手すり設置、及び
稲荷社屋根塗装工事等の費用に充てる予定
です。

宮司

荏原消防団第四分団

消防操法審査会で優勝す

去る六月三日(日)荏原平塚学園にて举行された平成二十四年度消防団消防操法審査会に於いて第四分団(分団長 伯耆原雄治様)は、見事優勝の栄に欲しました。謹んで
祝意を表します。

四分団には、訓練に訓練を重ね努力した
その成果が優勝を勝ち得たのだと思いま
す。

今後の貴団の益々のご精進を心から祈念
申し上げます。

宮司

二葉四丁目睦会

創立二十周年記念大会開催

去る六月十七日(日)品川区中小企業センター
に於いて二葉四丁目睦会(会長 小宮 進様)は、
創立二十周年記念大会が開催されました。

貴会の役割、使命は地域に根差した活動と天
祖神社と地域との太いパイプの構築だと思いま
す。

更に三十年、四十年に向けてのご活躍とご発
展を心からご祈念申し上げます。

宮司

夏越大祓神事齋行

大祓いは、私達日本人の伝統的な考え方に基
づくもので、常に清らかな気持ちで日々の生活
にいそむよう自らの心身の穢れ、そのほか災
厄の原因となる諸々の罪、過ちを祓い清めるこ
とを目的としています。

この行事は、記祀神話に見られる、いざなぎ
のみこと(の禊祓(みそぎはらい)を起源とし、宮
中においても古くから大祓がおこなわれてきま
した。中世以降は、全国各神社で年中行事の一
つとして普及し、現在では多くの神社の恒例式
となっております。

年に二度おこなわれ、六月の大祓は夏越(なご
し)の祓と呼ばれます。人形を用いて身についた半
年間の穢れを祓い、無病息災を祈ります。

私たちにとって、その年々の節目に行われる
大祓は、罪や穢れを祓うとともに自らを振り返
るための機会としても必要なことではないでし
ょうか。

当社では六月三十日氏子総代ご参列のもと大
祓の儀式が厳修なされました。

月次祭

毎月一日午前七時より、その月の氏子の皆様の家内安全を祈る月次祭を行っております。当日は御神前にて宮司が祭儀を厳修し、参列者一同で「大祓詞」を奉唱し、玉串を捧げます。式典後社務所において「朝粥」を食し歓談いたします。

★五月一日に参列なさった方々のご芳名
 草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、
 柵木ヒサ様、高須みちよ様、井渕良子様、
 白土まさ江様、吉川トミ様、船岡千枝様
 富田登美子様、生沼しげ様、野秋クニ様
 ★六月一日に参列なさった方々のご芳名
 草柳洋一様、矢羽直公様、金子省太郎様、
 柵木ヒサ様、高須みちよ様、井渕良子様、
 白土まさ江様、吉川トミ様、富田登美子様、
 福岡よし江様、野秋クニ様

生命の言葉(七月)

自分のしている事が

自分の目的エンデになっていない程

苦しいことはない

夏目漱石

目的と手段が直結しづらい世の中、目的や生きがいを持ってずに仕事を続けるのは大変な苦悩である。

『行人』

夏目漱石 一八六七〜一九一六年 小説家
 『行人』では自我を鋭く分析し、知識人の心に潜む利己主義を描いた。この言葉には、しかし、不本意さに甘んじず目的にストレートに向かう熱意と努力が必要だと云う思いが込められている。

初宮参り

平成二十四年一月以降、初宮参りに当社をご参拝なされた方のご芳名を列記し、神様のご加護を心よりお祈り申し上げます。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 白土 莞多様 | 榎本 大志様 | 瀬戸菜々子様 |
| 加賀 凱翔様 | 大場 衣織様 | 佐藤 優凜様 |
| 川合 潤花様 | 石橋 大知様 | 吉田 文様 |
| 星野 莉子様 | 深澤百々果様 | 森谷まどか様 |
| 足立 想奈様 | 田尾 美月様 | |

家庭のやすらぎ、家族の絆

家庭の信仰は、一家の人々が心を合わせ神を敬い先祖を尊び、子孫を愛することによって美しく育て上げられます。人の幸福の基は家庭であります。

自分の運命を善くしようと思うならば素直であることであります。素直であるということは、いつも幼児のような心であることです。そうすれば、見るもの聞くものすべてが新鮮で、もの珍しく何でも勉強になりどんどん吸収でき、そして感動があり充実となるものです。
 生きるとは、素直な心になりきることでありと思えます。

各地区敬老クラブ境内清掃に感謝

毎月十日は各地区老人クラブの方々による境内清掃奉仕が行われております。今月も各地区より皆様が集まり境内清掃奉仕をなさって下さいました。誠に有難うございます。

- 五月十日奉仕の方々のご芳名
 豊町五丁目 小野ヨシ恵様、森谷ミツエ様
 二葉四丁目 眞川功四郎様、西村アサノ様
 二葉三丁目 中村 正子様、川島美代子様
 戸越六丁目 酒井レイ子様、広瀬ひろ子様
 豊町六丁目 岩井 博子様、森下とよ子

六月十日奉仕の方々のご芳名

- | | |
|-------|---------------|
| 二葉三丁目 | 庄田 アヤ様、杉本登久江様 |
| 二葉四丁目 | 田母神英子様、小林 英子様 |
| 戸越六丁目 | 平本イマ子様、角木千鶴子様 |
| 豊町五丁目 | 阿部イキ子様、斎間 良江様 |
| 豊町六丁目 | 若山美智代様、渋谷 和子様 |

天祖神社々務所

〒一四二一〇〇四三
 東京都品川区二葉四一四一十二
 TEL 〇三(三七八二)一七一
 FAX 〇三(三七八二)一七一